



QoSマーキング (クラスタ管理者のみ)

ONTAP 9

NetApp
February 12, 2026

目次

QoSマーキング（クラスタ管理者のみ）	1
ONTAPネットワークのQoS（Quality of Service）について学ぶ	1
UC準拠のためのDSCPマーキング	1
ONTAPネットワークQoSマーキング値を変更する	1
ONTAPネットワークQoSマーキング値を表示する	2

QoSマーキング（クラスタ管理者のみ）

ONTAPネットワークのQoS（Quality of Service）について学ぶ

ネットワークQoS（Quality of Service）マーキングは、ネットワークの状態に基づいて異なるトラフィックタイプに優先順位を付け、ネットワークリソースを効果的に使用するのに役立ちます。IPspaceごとに、サポートされているトラフィックタイプに対して、送信IPパケットのDSCP（Differentiated Services Code Point）値を設定できます。

UC準拠のためのDSCPマーキング

デフォルトまたはユーザが指定したDSCPコードを使用して、特定のプロトコルの送信IPパケットトラフィックでDifferentiated Services Code Point（DSCP）マーキングを有効にすることができます。DSCPマーキングは、ネットワークトラフィックを分類して管理するためのメカニズムであり、Unified Capabilities（UC）準拠のコンポーネントです。

DSCPマーキング（`_QoSマーキング_`または`_Quality of Serviceマーキング_`とも呼ばれます）は、IPspace、プロトコル、およびDSCP値を指定することによって有効化されます。DSCPマーキングを適用できるプロトコルは、NFS、SMB、iSCSI、SnapMirror、NDMP、FTP、HTTP/HTTPS、SSH、Telnet、およびSNMPです。

特定のプロトコルに対してDSCPマーキングを有効にする際にDSCP値を指定しない場合は、デフォルトが使用されます。

- データプロトコル/トラフィックのデフォルト値は0x0A（10）です。
- 制御プロトコル/トラフィックのデフォルト値は0x30（48）です。

ONTAPネットワークQoSマーキング値を変更する

それぞれのIPspaceについて、さまざまなプロトコルのサービス品質（QoS）マーキング値を変更できます。

開始する前に

クラスタ内のすべてのノードで同じバージョンのONTAPが実行されている必要があります。

手順

```
`network qos-marking modify` コマンドを使用してQoSマーキング値を変更します。
```

- `-ipspace``パラメータは、QoSマーキングエントリを変更するIPspaceを指定します。
- `-protocol``パラメータは、QoSマーキングエントリを変更するプロトコルを指定します。
- この`-dscp``パラメータは、Differentiated Services Code Point（DSCP）値を指定します。指定可能な値の範囲は0~63です。
- `-is-enabled``パラメータは、`-ipspace``パラメータによって提供されるIPspace内の指定されたプロトコル

のQoSマーキングを有効または無効にするために使用されます。

次のコマンドは、デフォルトIPspaceのNFSプロトコルのQoSマーキングを有効にします。

```
network qos-marking modify -ip-space Default -protocol NFS -is-enabled true
```

次のコマンドは、デフォルトIPspaceのNFSプロトコルのDSCP値を20に設定します。

```
network qos-marking modify -ip-space Default -protocol NFS -dscp 20
```

```
`network qos-marking modify`
```

とプロトコルの可能な値の詳細については、[link:https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/network-qos-marking-modify.html](https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/network-qos-marking-modify.html) ["ONTAPコマンド リファレンス"]を参照してください。

ONTAPネットワークQoSマーキング値を表示する

それぞれのIPspaceについて、さまざまなプロトコルのQoSマーキング値を表示できます。

手順

```
`network qos-marking show`コマンドを使用してQoSマーキング値を表示します。
```

次のコマンドは、デフォルトのIPspace内のすべてのプロトコルのQoSマーキングを表示します。

```

network qos-marking show -ipSpace Default
IPspace          Protocol          DSCP  Enabled?
-----
Default
                CIFS                10    false
                FTP                48    false
                HTTP-admin         48    false
                HTTP-filesrv       10    false
                NDMP              10    false
                NFS                10    true
                SNMP              48    false
                SSH                48    false
                SnapMirror         10    false
                Telnet            48    false
                iSCSI             10    false

11 entries were displayed.

```

`network qos-marking show`の詳細については、link:<https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/network-qos-marking-show.html> ["ONTAPコマンド リファレンス"]をご覧ください。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。